



目覚めよ！眠っている本能や能力



旭山のすぐ下の田んぼの雪解けも進み、多くのハクチョウが羽を休めています。春は確実に訪れています。

雪解けと共に花粉症の季節です。大学生の頃の酪農実習で、牧草アレルギーが発覚しました。カモガヤアレルギーです。カモガヤは牧草のオーチャードグラスのことで、雑草としてもごく一般的です。毎日牧草の収穫作業をしたのですが、腕には蕁麻疹、涙、鼻水…夜は咳で眠れなくなり、それでも朝3時過ぎには起きて、ウシの搾乳をしました。実習先は釧路方面で、診療所も車で1時間以上と絶望的な状況でした。単位を取るためにまさに必死でした。

卒業後、動物園に就職しましたが、飼育作業で青刈りの牧草を触らずに過ごすことは不可能でした。実習から数年たっており、忘れかけていたのですが、やはり激烈なアレ

ギー反応が出ました。コンタクトレンズは諦めて眼鏡に変え、薬を飲むと眠気との戦い。とにかく動物のためにと働きました。すると、何と数年でアレルギーは治まったのです。

ヒトのアレルギー人口は増えており、ペットでも同じ傾向です。旭山動物園の野生種の動物たちは、今のところ致命的なアレルギーは認められていません。ヒトと暮らしを共にしていないこともありませんが、将来は動物のアレルギーが問題になる時代が来る可能性はあると思います。

30年前の動物たちと今の動物たちを見てみると、野生の本質は変わらないけれど、色々な意味で丸くなってきていると感じます。昔は野生やその2世で、気迫・すごみが半端ではない個体がたくさんいました。今では飼育下で世代を重ねた個体が大半を占めます。安全と食べることを保障され続け、世代を重ねています。

だからこそ、眠ってしまったという本能や能力を少しでも目覚めさせてやろう、そう考え試行錯誤の日々が続きます。

旭山動物園の催し

旭山動物園 東旭川町倉沼 番36・1104

ワンポイントガイド

☑飼育員が動物たちのエピソードなどを紹介

☑毎週日曜日、祝日 13:30から

動物の絵本の読み聞かせ

☑毎月第2土曜日

11:00から

☑動物図書館



とことん旭山

☑動物園裏側体験

①旧キリン舎・旧カバ舎の調理棟 = 6/9(土) ②きりん舎・かば館 = 6/16(土) ③旧キリン舎・旧カバ舎の調理棟 = 6/23(土) いずれも11:00から

☑各20人

☑各日の3週間前の9:00から電話で同園

障がい者夜間特別開園

☑6/23(土) 17:30~19:00

☑心身に障害がある方とその家族

☑100組

☑5/26(土)~6/18(月)に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・障害の状態・手帳の種類や等級など(身体障害者手帳等の写しを必ず添付)・同行家族等の人数・車椅子利用の有無・介助希望の有無を記入し、郵送かファックスで、旭山動物園「障がい者夜間特別開園係」(〒078-8205 東旭川町倉沼 ☎36・1406)

児童動物画コンクールの作品を募集

☑同園の動物や風景を描いた絵を募集

☑小学生以下の幼児・児童

☑4つ切りの画用紙(幼児は8つ切りでも可)で、6/1(金)~8/27(月)に同園



☑昨年の幼児の部「市長賞」
みやた 晟空くんの作品